


進路だより

発行：平成27年10月9日

1  ～卒業生による進路だより～

～卒業生による進路だより～ NO. 5

松本佳奈（大阪教育大学 教育学部 教養学科 芸術専攻音楽コース）

◎私の通う大学・学科の一押しポイント

大阪教育大学には教育学部があり、その中には大きく分けて教員養成課程と8つの専攻からなる教養学科の2つがあります。この大学の大きな特色の一つとして、人間科学・文化研究・数理科学・自然研究・情報科学・健康生活・音楽・美術・スポーツなど、学問とアートの交流を含めた本格的なリベラル・アーツの教養学科が、日本の教育大学では唯一存在しているということです。専門的な分野だけでなく、人が社会で生きていくために必要な幅広い分野の学問を学び、いろいろな角度からものを考える力をつけられるカリキュラムになっています。山の中にあるキャンパスは広く、たくさんの緑に囲まれています。部活動にも力を入れている大学で、充実したキャンパスライフが送れると思います。

◎学部・学科で学べること・できること

ひと学年50人程が集まる音楽コースは、声楽・管弦打楽器・ピアノ・作曲の専攻にわかれています。音楽コースでは音楽表現の技法や音楽作品の創作に関わる様々な理論的・実践的課題を探求し、音楽作品や音楽文化についての理解を深めます。また、週1の独奏・独唱(個人レッスン)はもちろんのこと、オーケストラ・合唱・室内楽など多様な演奏形態の音楽活動の実践を通して表現能力を高め、創造的な音楽行動能力を修得するカリキュラムになっています。個人レッスンと並行して、必修科目では作曲理論、室内楽、合唱が、選択科目では雅楽、舞台表現法、ダンス・クラシック、音楽学などを学ぶことができます。また、本学の音楽コースでは年に2回定期演奏会が行われます。(今年からザ・シンフォニーホールになりました！)

私が最終的にこの大学を志望した理由は、他の音楽大学とは違って、音楽の専門性を深めつつ、一般教養や他の芸術・文化など幅広い分野の知識を高めることができるという点に魅力を感じたからです。

◎大学に入ってから今まで感想

大学に入って一番強く感じたことは、この大学には「教師になりたい!」「〇〇の分野で輝きたい!」と、夢や目標、高い志を持つ人が多いということです。音楽棟でともに音楽を学ぶ、同じ目標を持つ仲間や、行事や部活・サークルを通して出会う、様々な分野を専門とした全く違う道を目指している仲間と関わり、交流することで良い刺激をたくさん受けています。最初は「どうやって時間を使っていこうか?」と少し不安だった大学生活ですが、通学時間が長いながらも、勉強、練習、部活、サークル、バイト、遊び……と、充実したものになっています。

何より、中学や高校の時よりも自分のやりたいことに時間をあてて専念できることが嬉しいです。また、大学では今まで自分には縁のなかったことでも、様々な経験の中で「新しく挑戦してみよう!」と、自分から何か打ち込めることを見つける機会がたくさんあるように思います。

角谷仁（大阪教育大学教育学部教員養成過程国語教育専攻小学校コース）

◎学部・学科で学べること・できること

私は、国語教育専攻の小学校コースに所属しています。小学校の先生になるための8教科の授業(図工などもあります)や、国語教育の解釈学という、物語(『ごんぎつね』や『スイミー』など)の教材分析をする授業もあります。教材分析はとても興味深いです。卒業後の進路は、殆ど学校の先生です。小学校コースでも副専攻として中学校・高校の教員免許も取得出来るので、私の周りにはそのようにして中学校の先生を目指す人もいます。

◎大学に入ってからの今まで感想

とにかく友達の幅が広がります！新しい人との出会いは素晴らしいです。附属にいたなら尚更、そう思います。いろんな地域、いろんな出身校、いろんな趣味の人が集まるからめっちゃ楽しいです。楽しすぎます。部にもよりますが、私の所属する吹奏楽部はとてもハイクオリティで、充実しています。皆さんぜひ一度演奏を聴きに來てください！

林みずき（大阪教育大学教育学部教養学科芸術専攻芸術学コース）

◎私の通う大学・学科のー押しポイント

大阪教育大学は金剛生駒紀泉国定公園にあり、自然豊かな環境で綺麗な景色を楽しむことができるのが自慢です。大阪と奈良の狭間に存在するため、どこが境目かを探すのも一興です。また、学祭は年に2回、春と秋に行われるので、自分とは違う学科の人と関わりを深める良い機会となっています。

◎学部・学科で学べること・できること

大阪教育大学教育学部教養学科芸術専攻芸術学コースでは、主に芸術理論の理解や創作能力の向上を図る授業が行われています。専門分野は2回生になって決めるため、1回生の間は芸術分野を幅広く勉強します。芸術専攻ですが、意欲次第で学べることは芸術だけに留まりません。進路は、映画制作会社といった芸術に関わる一般企業への就職、学芸員が多いようです。

◎大学に入ってからの今まで感想

4ヶ月があっという間に感じるほど、新たな出会いや経験のもと、充実した大学生活を送っています。大学生活は自由度が高いため、自分次第でいくらでも楽しいものにできますが、やはりその自分の基盤をつくっているのは附属です。大変なことも多いでしょうが、附属での生活をしっかり楽しむことをおすすめします。

編集後記

後期が始まり、2回生の皆さんは、いよいよ迫ってきたなといったところでしょうか。BATON編集部一同、一層気を引き締めていきます。次回は、関西の私立大学特集を予定しています。そして、一人暮らしや学祭の紹介など、楽しい記事も予定しています。お楽しみに！（田内）